

# 北名古屋市図書館サービス計画

令和5年7月

## 目次

北名古屋市図書館サービス計画について	1
1 図書館サービスに関する経緯・現状	1
(1) 経緯	1
(2) アンケートによるニーズ把握	2
アンケート調査（H24・H28・R3年度）に見る利用形態	<b>別添1</b>
(3) 図書館に関する社会的ニーズ	3
(4) 利用状況の変化	3
利用実績グラフ	<b>別添2</b>
(5) 図書館サービスの現状	3
2 新たなサービス計画骨子	4
3 基本方針について	4
4 目標設定について	5
5 北名古屋市図書館のサービス展開について	6
(1) 目標に基づく取組	6
(2) 基本的な取組	14

## 北名古屋市図書館サービス計画について

図書館サービスとは、「図書館機能を必要とする対象（顕在・潜在）に、図書館資源（施設・資料・サービス）を提供することであり、図書館のサービス計画は、図書館機能を必要とする対象（顕在・潜在）に、資源価値（施設・資料・職員）の最大化を図りつつ、効率的に（資源の活かし方を定期的に見直し、最善の手法で）サービスを展開し、政策効果を上げるための道筋」とされています。

また、図書館法第7条の2に基づく「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年12月19日文部科学省告示第172号）では、設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針を策定することとされています。

北名古屋市図書館では、新たなサービス計画を策定するに際して、計画の骨子、基本方針、目標設定を行い、急激な変化に対応できるよう具体的なサービス計画の展開については年度ごとに策定するものとします。

サービス計画期間：令和4年7月から令和7年6月までの3年間とする。

サービスの展開策定期間：1年

### 1 図書館サービスに関する経緯・現状

#### (1) 経緯

北名古屋市図書館は、平成2年に師勝町図書館、平成4年に西春町図書館として開館し、平成18年の合併により、北名古屋市東図書館、西図書館として2館を運営し、このたび令和3年10月に両図書館を北名古屋市図書館（旧東図書館）として統合しました。

本市図書館においては、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に沿って平成26年度に「北名古屋市図書館の現状と課題」を図書館協議会に提示するとともに、図書館のサービス計画について「北名古屋市図書館のサービス展開」として毎年提案・承認のもとサービスの展開を図ってきました。

平成27年度には、「北名古屋市図書館業務基準」を改定しています。また、「図書館利用状況の好転について一新事業の展開と利用実績の好転」、「東図書館・歴史民俗資料

館のあゆみと動線リニューアルについて」を提起し、図書館利用の促進を図ってきました。

令和元年度には、「図書館サービスの新展開について」として、地域資料、地域情報の発信を行うこととしました。

子ども読書活動の推進については、平成26年2月に「北名古屋子ども読書活動推進スキーム(※)」を策定し、同年4月より「子ども読書の日」記念事業—図書館は玉手箱!」を毎年開催してきました。しかし、令和2年に新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、こうした事業の休止、中止を余儀なくされました。

こうしたコロナ禍において、また市の事務事業の見直しを図るなかで、複数ある公共施設の統合が進められ、令和3年9月末をもって西図書館を旧東図書館に統合することとなりました。

(※)スキーム…枠組み・計画

## (2) アンケートによるニーズ把握

利用者のニーズを把握するために、平成24年度、平成28年度、令和3年度に利用者アンケートを実施しました。平成24年度の全体満足度は「満足」及び「ほぼ満足」を集計すると85.0%、平成28年度には89.2%と上昇しています。

また、平成28年度の調査では、当時から図書館内にカフェを併設するといったサービスが人気を博していたことから、同種のサービスへの期待を問いにしたところ、「期待する」は39.5%、「期待しない」が57.0%となり、自由記述にも図書館の閲覧席と飲食は両立しないとの意見が多数見られました。

図書館の利用目的については、「本や雑誌、視聴覚資料(CD・DVD)を借りる」が48.9%、「館内で本や雑誌・新聞などを読む」が16.2%と大部分を占めていました。

令和3年度のアンケート調査は、図書館の統合に伴う利用者ニーズ把握のアンケートに特化し、予約本受取窓口(サービスポイント)の必要性について69.4%が「必要」としています。アンケート結果については、比率の高いニーズを認識しつつ、次に示す社会的ニーズと照らし合わせることで、また、顕在的なニーズ以外にも潜在的なニーズを探る、あるいは試行してみるといったアクションも不可欠であると考えています。

### 別添1 アンケート調査(H24・H28・R3年度)に見る利用形態

### (3) 図書館に関する社会的ニーズ

- ・課題解決支援：子育て支援、ビジネス・就業支援、医療・健康情報等
- ・学校教育支援：英語学習
- ・オンラインサービス：電子書籍、デジタルコンテンツ(※)の提供
- ・居場所づくり：カフェの併設、くつろぎの場の設置

(※)コンテンツ…情報の中身・内容

### (4) 利用状況の変化

図書館の利用登録者数は、平成19年度の60,721人をピークに、平成29年度には2万人を下回り、令和3年4月現在で17,266人（うち市内在住者15,539人）となっています。

#### ◆貸出冊数の推移

貸出冊数は、平成23年度の672,766冊をピークに、平成25年度には60万冊を下回り、令和元年度には532,197冊とピーク時から約14万冊減少しています。令和2年度はコロナ禍の影響を受け311,398冊にとどまっています。

#### ◆図書館行事への参加状況

行事への参加者は減少傾向にあります。

#### ◆学習室利用状況

学習室の利用者は増加傾向にあります。

## 別添2 利用実績グラフ

### (5) 図書館サービスの現状

図書館利用状況としては、登録者数、貸出冊数ともに減少傾向にあり、主な要因は、インターネット、スマートフォン等の普及、電子図書の普及により手軽に入手できるようになったことがあげられます。この状況については、多くの公共図書館が課題として認識しており、現代図書館の抗えない変化点として認めることができます。

このような経過と現状認識のもと、新型コロナウイルス感染拡大防止対策等の急激な変化に対処できるよう、柔軟性を持った「図書館サービス計画」を策定します。

## 2 新たなサービス計画骨子

図書館の統合及びコロナ禍の現状に伴い、サービス計画体系に新たな視点を追加します。

- 視点1 面的サービスの補完
  - 予約本受取窓口（サービスポイント）の設置
  - まちじゅう図書館
- 視点2 コロナ禍におけるサービスの創出
  - 短時間で満足度の高いサービスの創出
- 視点3 コロナ禍・コスト意識を背景としたサービスの強化
  - 図書資料の徹底探索
  - 既存施設・民間団体等との連携強化
  - オンラインサービスの普及



広報北名古屋 令和3年9月号掲載

## 3 基本方針について

図書館は、人々が豊かで創造的な生涯を送る助けとなる図書資料を収集・保存・提供する場です。また、今日では急激な社会情勢の変化や現代的課題を解決する糸口を情報として提供する場としても認識されています。こうした情報は文字や図像、音により資料に記され、世に送り出され、人々の手に届けられます。その点数は膨大で、内容は広範囲に及ぶことは言うまでもありません。同様に、人は個性や特性にあふれ、いわゆる多様性があ

り、ゆえに求める情報も多岐にわたります。多種多様の図書資料を備えた図書館は、利用者と情報の出会いの場です。図書館の機能は、人がそれぞれの求める形で図書館の資料を利用することにより、様々な機能を発揮します。

北名古屋図書館は市民の生活において読書と学びの世界を広げる役割を担い、サービス環境を整備していくことを基本方針とします。

#### 4 目標設定について

継承するサービスに新たなサービスを加え、さらに「まちに図書があふれるプロジェクト」また、新設される「(仮称)多機能型市民活動センター」における多様な学習に応じるスペース等を総括した目標として次の5つを設定します。また、包括的な目標として図書、読書、ひと、アート、歴史による交流と場を提供していくという「まちに学びがあふれる！」を設定します。

#### 図書館サービス計画目標

まちに学びがあふれる！（図書＋読書＋ひと＋アート＋歴史）×交流＋場

- 一人ひとりの読書と学びを支える。
- 読書を通じた交流やつながりを広げる。
- 文化・芸術と出会う。
- 地域の歴史と文化の記録を蓄積し、地域の学びに活かす。
- 北名古屋市の魅力を発信する。



「まちに学びがあふれる！」イメージ

令和3年10月5日開催 図書館協議会資料より

## 5 北名古屋市図書館のサービス展開について

### (1) 目標に基づく取組

#### ア 一人ひとりの読書と学びを支える。

いつでも自由に学ぶことができ、生涯にわたって一人ひとりが読みたい本や知りたい情報を得て主体的に学ぶ情報と機会を提供します。

項 目	方 向	令和4年度の現状と今後
予約本受取窓口 (サービスポイント)の設置	北名古屋市図書館(旧東図書館)を中心に、旧西図書館利用者の面的サービスを補完するため、名古屋芸術大学アートスクエア(文化勤労会館)1階受付に開設しています。	<p>予約本受取窓口(サービスポイント)では、図書館の予約資料の受け取り、借りた資料の返却、図書利用券やパスワードの発行(受け渡しは後日)を申し込めます。また、検索端末(OPAC)で、検索・予約・貸出更新(1回)ができます。</p> <p>令和3年10月6日から開設し、令和3年度は1,603名(貸出冊数2,591冊)、令和4年度(1月末現在)は2,263名(貸出冊数3,728冊)の利用がありました。</p> <p>今後も利用者が増加するよう周知に努めるとともに、資料の受け取り箇所の増設について研究します。</p>
コレ読!	図書館から新たな本との出会いを提供します。	<p>従来のテーマ本コーナーに加えて、小規模ながら斬新なテーマでピックアップした書籍群を紹介する本棚を設置しました。</p> <p>今年度は、毎週130冊程の新作本の展示期間を1週間から2か月程に延長し、集約して設置することで、利用者が新しい本を手に取りやすくしました。</p> <p>利用者から高評価を得ており、今後テーマを利用者から募集し、リクエストに応じるなど拡張を検討します。</p>

<p>図書資料の徹底探索</p>	<p>愛知県公共図書館協会加盟館間資料相互貸借規約に沿って資料の相互貸借を行い利用に供します。</p>	<p>利用者のリクエストに応えられるよう愛知県内・県外（岐阜県・三重県・富山県・石川県・福井県・静岡県・国会図書館等）へ積極的に活用してきました。</p> <p>今後も利用者のリクエストに応えられるよう、取り組みを強化していきます。</p>
<p>オンラインサービスの利用促進</p>	<p>愛知県図書館などが実施している電子書籍サービスの利用促進及び電子書籍の導入について研究します。</p>	<p>愛知県図書館が導入している電子書籍サービスは、県民がオンラインで利用手続きをすることで、いつでもどこでも専門書・学術書を中心とした5,000冊以上の図書を無料で読むことができます。</p> <p>今年度は、図書館ホームページで「愛知県図書館電子書籍サービス」を市民に案内することにより、提供する図書資料の充実及び利便性の向上を図りました。</p> <p>本市においても今後、デジタル化、電子書籍の動向などを把握し、電子書籍の導入方法について、また、無料 Wi-Fi の導入についても研究していきます。</p>
<p>学校図書館との連携及び「子ども読書活動推進計画」の更新</p>	<p>学校図書館との連携強化を検討するとともに、「子ども読書活動推進計画」の更新を準備します。</p>	<p>市図書館と学校図書館との連携について、市図書館と学校図書館が連携に期待する内容について調査・ヒアリングを行い、資源（蔵書・予算・人材等）と照合し、計画を策定します。</p> <p>また、第2期北名古屋教育推進スキーム「読書活動推進編」（令和元年～令和5年度）が最終年度であることから、市図書館と学校図書館との連携について令和6年度からの「北名古屋市子ども読書活動推進計画」に盛り込みます。</p>

<p>英語学習を支援する図書館資料の収集と活用</p>	<p>小学校における英語の教科化をはじめとする英語学習・教育への強化に伴い、これをサポートする資料を排架します。</p>	<p>小学生以下を対象とした英語関連資料は1,188点に及びますが、図書館に設置してある英語図書コーナー用の英語の多読用図書も随時購入しており、今年度蔵書数は322冊となりました。</p> <p>今後も積極的な収集に努めます。</p>
<p>学習室の提供</p>	<p>多様な学習者に向けて学習室を提供します。</p>	<p>席数を制限（24席）し、2部の完全入れ替え制（午前9時～午後0時30分・午後1時30分～閉館時間）により提供し、午後0時30分から1時30分までは換気と消毒の時間としました。</p> <p>特に、中学生、高校生等の定期試験、受験学習等の期間には、席数を上回る利用があり、学習室以外の会議室等の解放をしてきました。今後も利用状況に合わせた学習の場の提供を検討していきます。</p> <p>さらに、名古屋芸術大学アートスクエア（文化勤労会館）に多機能型市民活動センターの設置が計画され、Wi-Fi環境を整備した学習スペース、多世代が読書や資料などの閲覧ができるブラウジング(※)スペースの設置等が予定されており、学習スペースの拡張が期待されます。</p>
<p>インターネットサービスの利用促進</p>	<p>図書館ホームページからの予約、貸出更新などが便利になり、これらのサービスに関する情報を利用者に周知するよう努めます。</p>	<p>Webからの蔵書検索、予約、貸出更新、今度読みたい本の登録など、サービスを拡充すると共に、スマートフォン端末用ページにより利用がさらに便利になりました。これによりサービスを利用するために必要となるマイページの登録や、予約・貸出更新サービスの利用が増加しています。</p>

		今後もインターネットサービスの利用促進及び利便性の向上に努めます。
アクセス方法の周知	図書館へのアクセス方法を周知することにより利便性を図る。	広報北名古屋、北名古屋市ホームページ及び図書館ホームページにより「きたバス」・「シャトルワゴン」によるアクセスを随時周知しています。また、「まちに図書があふれるプロジェクト」の「ぶらぶら文庫」マップなどの活用を支援します。

(※)ブラウジング…閲覧

## イ 読書を通じた交流やつながりを広げる。

図書や読書を通して学ぼうとすること、知ろうとすること。こうしたアクションを通して交流、つながりを生みだしていきます。

項目	方向	令和4年度の現状と今後
【新規】 「どよう日の図書館」－おはなし会・かみしばい会－	土曜日という特定をすることにより、他の曜日とは異なる特別な日とし、利用者に「土曜日には図書館に行く」という感覚をもっていただくようにします。	読書を通じた交流やつながりを広げるため、ボランティア団体との連携によりお話し会・紙芝居会を実施し、子どもと本をつなぐとともに、子どもの読書活動の推進を図ります。  今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止によりお話し会・紙芝居会を休止していましたが、ボランティア団体の協力を得て令和5年4月から実施します。
【新規】 0歳文庫	0歳児に対しての絵本との出会いの大切さや楽しさを保護者に伝えるとともに、子育て支援を行います。	ブックスタートに代わる事業として、0歳児に対しての絵本との出会いの大切さや楽しさを保護者の皆さんに伝えるため、図書館の「お話しコーナー」に赤ちゃん向け絵本棚を設置します。併せて、子育てに関する本を展示し、保護者の子育て支援を行います。

司書体験の実施	司書体験の事業を通じて、図書館サービスへの理解を深めます。	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止としました。</p> <p>令和5年度は「子ども読書の日」記念事業として、小学生を対象に4月～5月に実施を予定します。</p>
学校等への団体貸出の推進	小中学校や保育園、児童クラブ等での調べ学習や朝読書等に必要な資料を収集し、提供します。	<p>団体貸出は随時利用されており、令和3年度は、貸出団体数34団体、貸出数3,084冊、令和4年度(1月末現在)は、貸出団体数28団体、貸出冊数2,714冊でした。</p> <p>今後も利用率向上のため、調べ学習等に必要な資料等を収集し、推進していきます。</p>
まちに図書があふれるプロジェクト	児童館を軸とし、民間事業所による図書の配架も想定し、図書を媒介としてコミュニティを形成していくよう努めます。	<p>令和3年10月から市内各児童館、児童クラブなどに約13,000冊の旧西図書館除籍資料を寄贈しました。これにより、公的機関としての図書館と「まちに図書があふれるプロジェクト」により「みんなの近くに本がある！」が具現化していきます。</p> <p>この取り組みは、市民協働及びブックリサイクルを一体化した取り組みとして独自の事業となります。市民の手により本を暮らしの中に配架し、まちづくりにつなげる事業としてNPOなどと連携して事業の活性化を図ります。</p> <p>今年度は児童館など市内事業所の20か所に設置されている「ぶらぶら文庫」のマップを図書館ホームページで紹介し、「ぶらぶら文庫」の利用促進を図りました。</p>



「まさに図書があふれるプロジェクト」として「ぶらぶら ブック ラブラブ ライブラリープロジェクト」シールを貼り活用が図られる。

### ウ 文化・芸術と出会う。

文化・芸術と出会う機会を創造することにより感動をわき立て、創造性を育み、人々に豊かな暮らしを提供します。

項目	方向	令和4年度の現状と今後
名古屋芸術大学附属図書館との相互協力	北名古屋市図書館及び名古屋芸術大学附属図書館の利用者の相互利用に関する協定により行います。	名古屋芸術大学附属図書館東キャンパスは音楽・保育園関連の専門書を多数所蔵し、西キャンパスは美術関係の専門的な画集・図録・雑誌などを幅広く収集しています。  今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市民は利用中止となっておりますが、再開に際しては、利用方法等を広く周知していくことに努めます。
「子ども読書の日」記念事業の開催	「子ども読書の日」を記念し、ボランティア団体と連携し、図書館・歴史民俗資料館全体で、子どもと本を結びつける事業を実施します。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止としました。  今後の感染状況などを踏まえ、実施を予定します。

## エ 地域の歴史と文化の記録を蓄積し、地域の学びに活かす。

一人ひとりの暮らしや営みは多様です。生活の場、学びの場、働く場としての北名古屋市の歴史、アイデンティティを知ることにより、地域性を共有する機会を提供します。

項目	方向	令和4年度の現状と今後
地域資料の充実	地域の情報を収集し、提供することは、図書館としての重要な役割となっています。	本市の郷土に関する情報は、「昭和日常博物館（歴史民俗資料館）」及び図書館の郷土資料として多岐にわたって蓄積されています。 今後も地域情報の収集・整理・提供する場の整備等を計画します。
北名古屋歴史民俗資料館との連携	図書館事業の実施に際して、歴史民俗資料館の協力を得ることにより、事業内容を豊かにします。	図書館2階ロビーの展示スペース拡大や地下駐車場車両展示コーナーは、図書館・歴史民俗資料館の来館者数増加に寄与しています。 今後も2階ロビーと地下駐車場展示コーナーの更なる充実を目指します。

## オ 北名古屋市の魅力を発信する。

「まちに学びがあふれる！」という目標により具現化された北名古屋市の姿を魅力ある北名古屋市像として発信していきます。

項目	方向	令和4年度の現状と今後
広報活動の推進	広報北名古屋、地域紙を活用し、図書館サービスや事業の広報に努めます。	今年度も、「図書館×昭和日常博物館 Selection・Column」として図書館・歴史民俗資料館で隔月担当とし、図書の紹介や図書館事業等の掲載を行ってきました。 今後も毎月、より詳しい情報の発信に努めていきます。

図書館だよりの発行	毎月、図書館だよりを発行し、図書館ホームページにも掲載していますが、さらに内容の充実に努めます。	子ども向けに読みやすく分かりやすい紙面づくりを図り、毎月、図書館だよりを発行しました。 今後も充実した紙面となるよう努めます。
図書館ロビー展示による発信	図書館のロビー及び吹抜けに設置された掲示用バトンを活用して北名古屋市の魅力を発信します。	今後も北名古屋市の魅力を発信するスペースとして活用を図ります。
【新規】市役所各課との連携	市役所各課の事業と連携し、関連する図書のコーナーを設け、情報提供に努めます。	家庭支援課と連携し、令和4年7月1日～18日、10月1日～30日の期間、里親制度に関する「コレ読！」コーナーを設け、制度に関する理解を深めていただくとともに、市内で開催される養育里親体験発表会のPRを行いました。 今後も、多様な連携を行っていきます。

## (2) 基本的な取組

### ア 計画的な資料の収集と保存

「資料収集方針」に基づき、資料費を有効に活用し、計画的な収集を行います。特に、予約の多い図書などを中心に資料の収集を図り、限られた資料費を効率的・有効に活用します。

愛知県内公共図書館が所蔵する希少資料を保存する「ラストワン・プロジェクト」に参加し、他の公共図書館との分担保存に努めます。また、資料の除籍は、除籍基準に基づいて適正に行います。

項目	方向	令和4年度の現状と今後
ラストワン・プロジェクト(※)への参加	希少資料の分担保存に努めます。	平成26年度から運用が始まり、2,696冊を登録しています。 今後も希少資料の保存に努めます。

計画的な図書館資料の収集と保存	図書館資料費の有効活用を図り、収集方針に基づいた資料収集を行い、毎年、各分野における新しい資料を増やします。	図書館資料を精査して収集しました。 今後も利用者の目線に立った資料の収集に努めます。
ブックリサイクル	除籍資料の再利用を進めます。	今年度のリサイクル事業として、旧西図書館除籍資料の市民向けブックリサイクルを、5月に8日間、7月に4日間、計12日間の日程で開催し、2,591名に36,482冊配布することができました。今回は、人気が高く重複所蔵していた図書館資料約20,000点をはじめ、再利用の機会が生まれなかった図書も含まれています。 今後も機会を設け図書の有効活用を図ります。
視覚障害者用資料の充実	朗読CD等の収集に努め、視覚障害等のある利用者への提供を検討します。	今年度も朗読CD等の収集に努め、演芸（主に落語）475作品、文芸（文学）433作品、全集70作品、合計978作品を利用者に提供することが可能となりました。 今後も視覚障害等で活字による情報収集が困難な方のために、朗読CD等の収集に努めます。

(※)ラストワン・プロジェクト…県内図書館1館のみが所蔵する資料を将来にわたって利用できるよう、県内図書館で協同して保存する取組

## イ 環境の整備

資料を適正に管理し、整理と定期的な点検、開架資料の更新を行い、館内掲示などにより利用者に使いやすい図書館環境の整備に努めます。

項 目	方 向	令和4年度の現状と今後
図書館整備事業	建物改修を計画的に検討し、快適な空間づくりに努めます。	雨漏り対策として、南側外壁等及びバルコニーの改修工事を行いました。 来年度は、経年劣化による故障リスクの低減等のため、電気設備改修工事、電話設備改修工事、自動ドア開閉装置取替工事を行います。 今後も計画的に改修工事を行います。
【新規】 視覚障害者用拡大読書器の導入	拡大読書器1台の寄附を受け入れました。	今年度、拡大読書器の寄附申し出があり、視覚障害者等の読書環境の整備のため受け入れ、図書館利用者が活用できるように閲覧席に設置しました。

#### ウ 業務水準の向上

職員対応マニュアル等を整備し、窓口対応等を共通化するとともに、職員研修に参加し、図書館サービスの向上を図ります。

項 目	方 向	令和4年度の現状と今後
職員研修の実施	接遇研修、資料検索研修等を実施し、業務水準の向上を図ります。	愛知県図書館主催の館外研修（図書館協力担当者新任研修会、レファレンスサービス研修等）及び市内職員研修（普通救命AED取扱い講習会、障害者差別解消法研修、地方公務員法研修等）に参加し、図書館サービスの向上となるよう知識を深めました。今後も職員の意識改革に努めます。

#### エ ライフステージにあった図書館サービスの提供

これからの北名古屋市を支える子育て世代、高齢者など、世代別のニーズを考慮した図書館サービスに努めます。

項 目	方 向	令和4年度の現状と今後
子育て世代へのサービス	子育てに関連する資料や児童書を充実させ、子育て支援施設と連携した情報提供に努めます。	子育て支援に関する図書の充実を図ります。また、図書館では分類に基づいた排架を行っておりますが、子育て支援関連図書のコーナー設置を研究していきます。
高齢者世代へのサービス	高齢者のニーズが高い、生きがいや健康づくりに関する資料を充実させ、関連機関とも連携した情報提供に努めます。	高齢者のニーズに合わせた図書の充実を図ります。また、地域包括ケア推進室等と連携を図り情報提供に努めます。
大活字資料の収集と提供	大活字資料を収集し、展示、紹介して利用促進に努めます。	大活字本の利用が年々増加しているため、今年度も収集に努め842冊の所蔵となりました。 今後も資料の充実を図ります。

## アンケート調査（H24・H28・R3年度）に見る利用形態

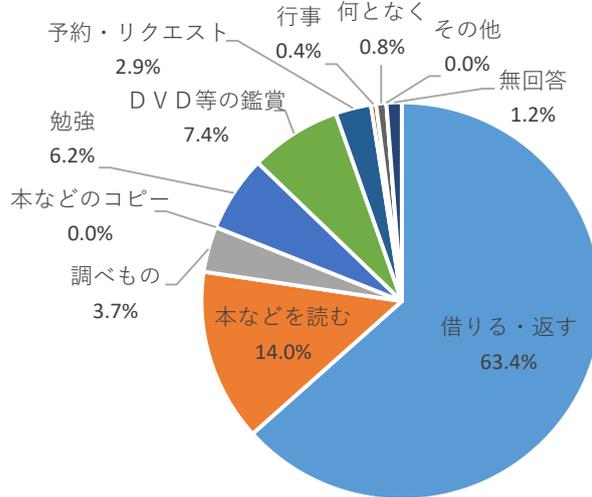
図書館サービス計画策定に伴い、図書館の利用形態についてアンケート調査を再評価する。

### 1 来館利用目的

【平成24年度】

来館の目的は？（複数回答可）

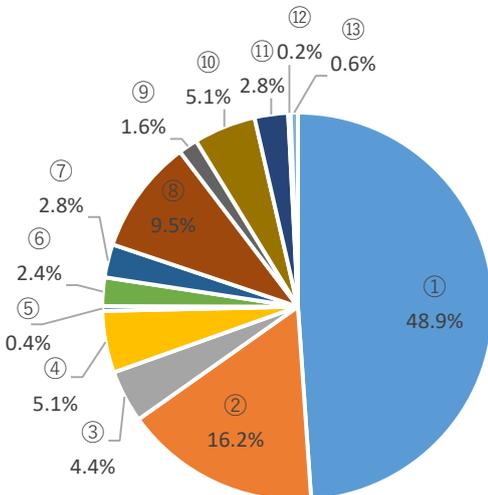
選択肢	回答者数	割合
借りる・返す	154	63.4%
本などを読む	34	14.0%
調べもの	9	3.7%
本などのコピー	0	0.0%
勉強	15	6.2%
DVD等の鑑賞	18	7.4%
予約・リクエスト	7	2.9%
行事	1	0.4%
何となく	2	0.8%
その他	0	0.0%
無回答	3	1.2%
合計	243	100.0%



【平成28年度】

図書館を利用する目的について（複数回答可）

選択肢	回答者数	割合
① 本や雑誌、視聴覚資料（CD・DVD）を借りる	247	48.9%
② 館内で本や雑誌・新聞などを読む	82	16.2%
③ 館内でビデオ・DVDなどを見る	22	4.4%
④ 資料を利用して調べものをする	26	5.1%
⑤ レファレンスサービス（調べものを手伝う）を受ける	2	0.4%
⑥ OPAC（検索機）を使用し、本を検索する	12	2.4%
⑦ 図書館ホームページで本の検索・予約をする	14	2.8%
⑧ 本を予約・リクエストする	48	9.5%
⑨ 「図書館は玉手箱」や「マジックショー」等の行事に参加する	8	1.6%
⑩ 学習・勉強の場として利用する	26	5.1%
⑪ ビジネス・健康・医療・法律情報を得る	14	2.8%
⑫ その他	1	0.2%
⑬ 無回答	3	0.6%
合計	505	100.0%



回答者の利用目的は、「本や雑誌、視聴覚資料（CD・DVD）を借りる」が63.4%から48.9%と減少している。これは、「本を予約・リクエストする」が2.9%から9.5%に増加していること、平成28年度の調査項目を増設していることに由来すると考えられる。

変化はあるが、図書館の利用目的の大部分は本・雑誌など図書資料の貸し借りである。

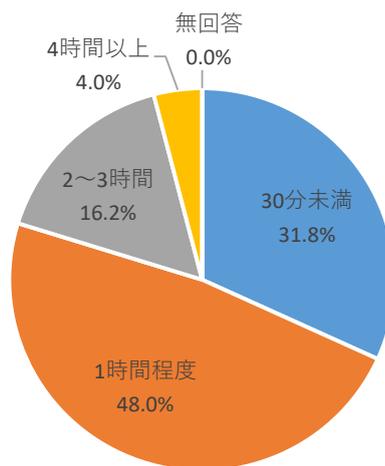
また、図書資料の予約・リクエストによる購入及び相互貸借による確保に関するサービスの周知、強化を進めており、その効果が増加という形で表れている。

現在は、Web予約の利用が高まっており、コロナ禍という状況も合わせて有用なサービスになっていると考えられる。

## 2 滞在時間

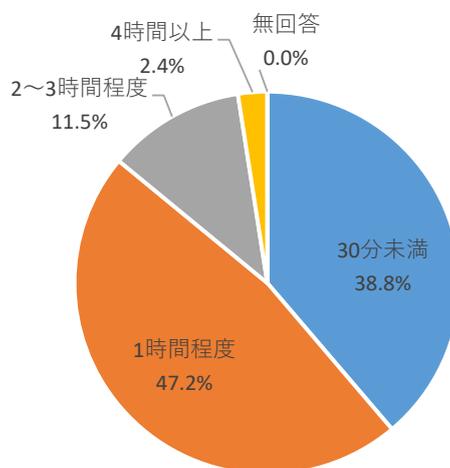
### 【平成24年度】

選択肢	回答者数	割合
30分未満	55	31.8%
1時間程度	83	48.0%
2～3時間	28	16.2%
4時間以上	7	4.0%
無回答	0	0.0%
合計	173	100.0%



### 【平成28年度】

選択肢	回答者数	割合
30分未満	111	38.8%
1時間程度	135	47.2%
2～3時間程度	33	11.5%
4時間以上	7	2.4%
無回答	0	0.0%
合計	286	100.0%



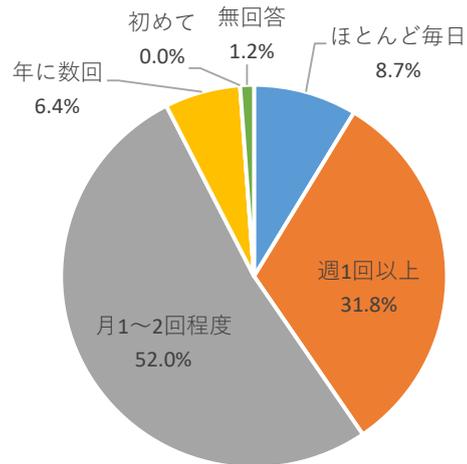
回答者の図書館滞在時間に関しては、大きな変化は見られず、1時間以内の短時間利用者が多いことがわかった。

現在は、コロナ禍の状況下において、滞在時間はさらに減少していると考えられる。

### 3 利用頻度

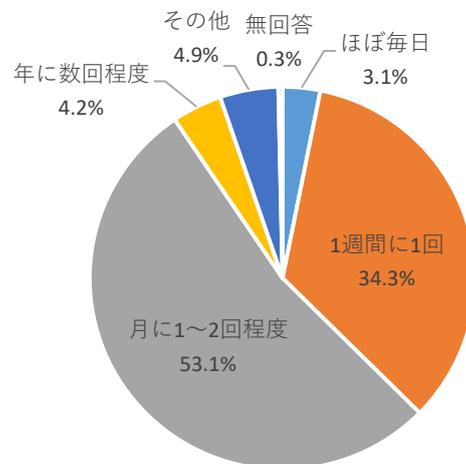
#### 【平成24年度】

選択肢	回答者数	割合
ほとんど毎日	15	8.7%
週1回以上	55	31.8%
月1～2回程度	90	52.0%
年に数回	11	6.4%
初めて	0	0.0%
無回答	2	1.2%
合計	173	100.0%



#### 【平成28年度】

選択肢	回答者数	割合
ほぼ毎日	9	3.1%
1週間に1回	98	34.3%
月に1～2回程度	152	53.1%
年に数回程度	12	4.2%
その他	14	4.9%
無回答	1	0.3%
合計	286	100.0%

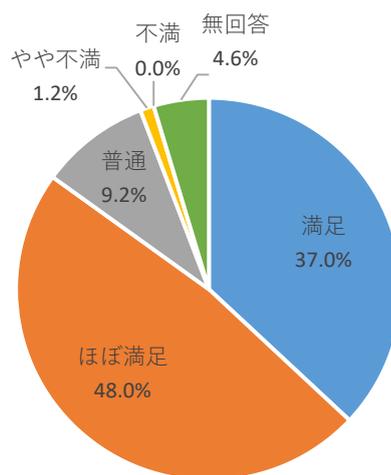


回答者の図書館の利用回数に関しては、大きな変化は見られず、「月に1～2回程度」が最も多く、続いて「1週間に1回」が多かった。

#### 4 満足度

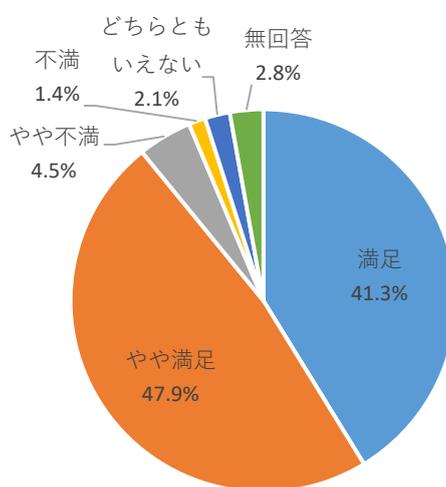
【平成24年度】

選択肢	回答者数	割合
満足	64	37.0%
ほぼ満足	83	48.0%
普通	16	9.2%
やや不満	2	1.2%
不満	0	0.0%
無回答	8	4.6%
合計	173	100.0%



【平成28年度】

選択肢	回答者数	割合
満足	118	41.3%
やや満足	137	47.9%
やや不満	13	4.5%
不満	4	1.4%
どちらともいえない	6	2.1%
無回答	8	2.8%
合計	286	100.0%



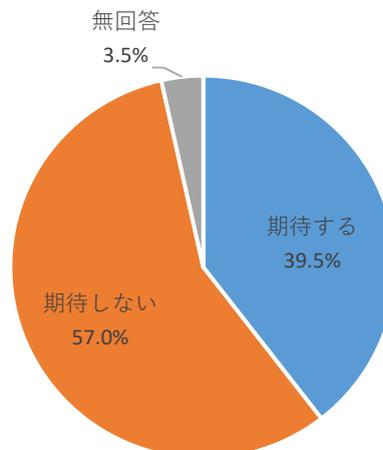
「満足」の回答が37.0%から41.3%に増加し、全体として満足度の高さが表れている。

## 5 楽しむ図書館像

### 【平成28年度】

近年、図書館での飲食、喫茶コーナーが充実した図書館が現れましたが、本館において同種のサービスを期待されますか。

選択肢	回答者数	割合
期待する	113	39.5%
期待しない	163	57.0%
無回答	10	3.5%
合計	286	100.0%

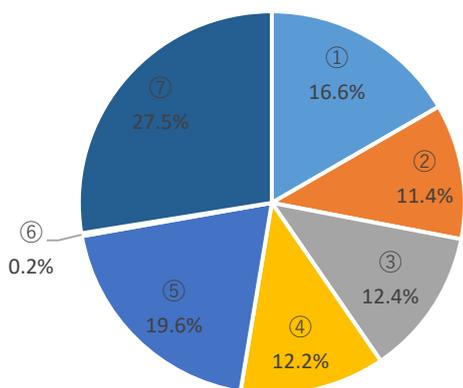


「期待しない」が57%と最も高く、続いて「期待する」の39.5%の順となった。

「期待しない」が多かった理由として、「現状のままでいい」や「本が汚れてしまう可能性がある」という意見があった。

### 楽しむ図書館を目指して（複数回答可）

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
「図書館は玉手箱」「マジックショー」「星まつり」などの一日限定タイプのイベント充実	ブックツリーや読書通帳など長期型のイベントの充実	昭和日常博物館を活用し、落ち着いた空間での読書やお話会などの実施	アート作品の展示など地域の生涯学習の発表の場としての利用	生涯学習講座（座学・ワークショップなど）の充実	その他	無回答	
67	46	50	49	79	1	111	403
16.6%	11.4%	12.4%	12.2%	19.6%	0.2%	27.5%	100.0%



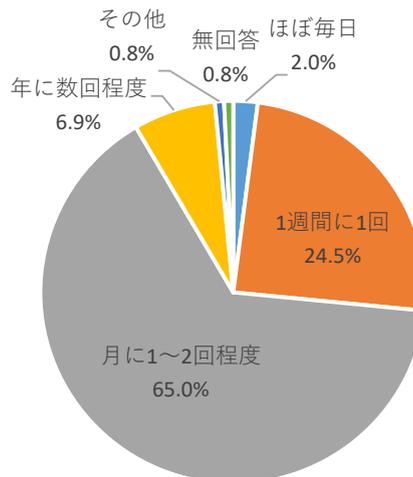
無回答を除いた結果では、「生涯学習講座（座学・ワークショップなど）の充実」の19.6%が最も高く、続いて「「図書館は玉手箱」「マジックショー」「星まつり」などの一日限定タイプのイベント充実」の16.6%、「昭和日常博物館を活用し、落ち着いた空間での読書やお話会などの実施」の12.4%、「アート作品の展示など地域の生涯学習の発表の場としての利用」の12.2%、「ブックツリーや読書通帳など長期型のイベントの充実」の11.4%の順となった。

無回答が27.5%と多く、「楽しむ図書館像」への関心が低いことが表れている。

## 6 西図書館閉鎖に伴うアンケート【令和3年度】

### (1) 図書館の利用回数について

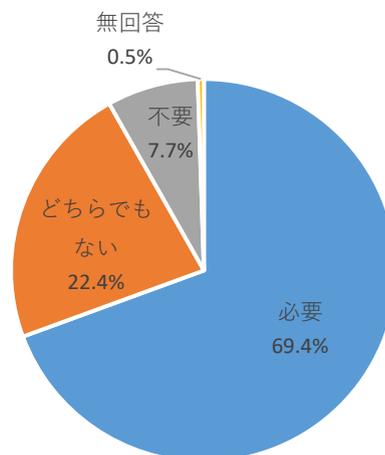
選択肢	回答者数	割合
ほぼ毎日	8	2.0%
1週間に1回	96	24.5%
月に1~2回程度	255	65.0%
年に数回程度	27	6.9%
その他	3	0.8%
無回答	3	0.8%
合計	392	100.0%



### (2) サービスポイントの設置について

※サービスポイントとは、図書館以外の場所で予約した本の受取り、返却ができるサービスです。

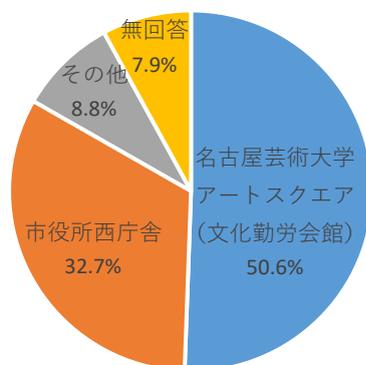
選択肢	回答者数	割合
必要	272	69.4%
どちらでもない	88	22.4%
不要	30	7.7%
無回答	2	0.5%
合計	392	100.0%



「必要」との回答が69.4%、「どちらでもない」との回答が22.4%、「不要」との回答が7.7%であった。

どこにサービスポイントがあると便利ですか？（複数回答可）

選択肢	回答者数	割合
名古屋芸術大学アートスクエア（文化勤労会館）	312	50.6%
市役所西庁舎	202	32.7%
その他	54	8.8%
無回答	49	7.9%
合計	617	100.0%

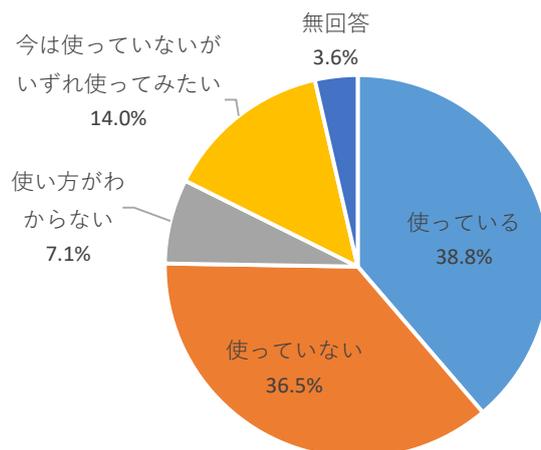


サービスポイントの設置場所では「名古屋芸術大学アートスクエア（文化勤労会館）」と回答された方が50.6%、「市役所西庁舎」と回答された方が32.7%あった。

また、「その他」では「西春駅」14件が最多であった。他には「駅（具体的な駅名なし）」8件、「コンビニ」6件、「徳重駅」「市の施設」各3件、「小中学校」「児童館」「スーパー」各2件、「郵便局」「宅配」各1件があった。

### (3) インターネットによる予約について

選択肢	回答者数	割合
使っている	152	38.8%
使っていない	143	36.5%
使い方がわからない	28	7.1%
今は使っていないがいずれ使ってみたい	55	14.0%
無回答	14	3.6%
合計	392	100.0%

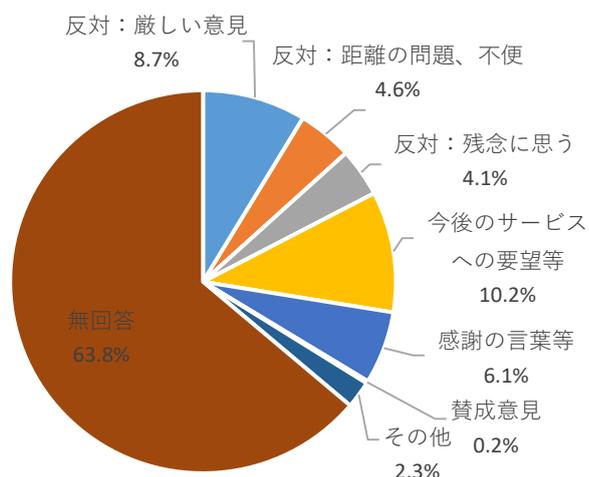


平成21年2月からサービスを開始したインターネットからの予約は「使っている」利用者（38.8%）が「使っていない」利用者（36.5%）を上回っている。

今後の課題としては、パソコンを使っていない人にもスマホから予約ができることを広くPRしていくことが必要だと考える。

### (4) 自由記述集計結果

回答内容	回答者数	割合
反対：厳しい意見	34	8.7%
反対：距離の問題、不便	18	4.6%
反対：残念に思う	16	4.1%
今後のサービスへの要望等	40	10.2%
感謝の言葉等	24	6.1%
賛成意見	1	0.2%
その他	9	2.3%
無回答	250	63.8%
合計	392	100.0%



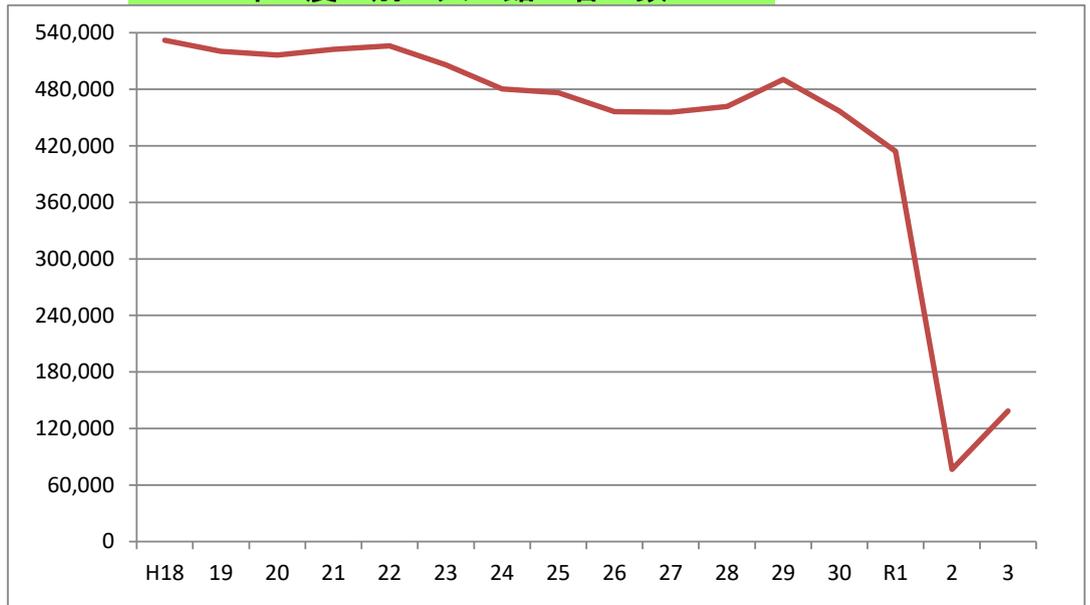
図書館の統合に関して、厳しい意見とともに反対意見を記述された方が8.7%、距離の問題については4.6%の記載があり、提示された10.2%のサービスへの要望等を踏まえ、今後のサービス計画を検討していく。

# 利用実績グラフ

別添2

年度	入館者数
H18	531,990
19	520,179
20	516,355
21	522,516
22	526,040
23	505,846
24	480,447
25	476,327
26	456,342
27	455,486
28	461,796
29	490,309
30	456,994
R1	414,057
2	76,574
3	138,556

## 年度別入館者数



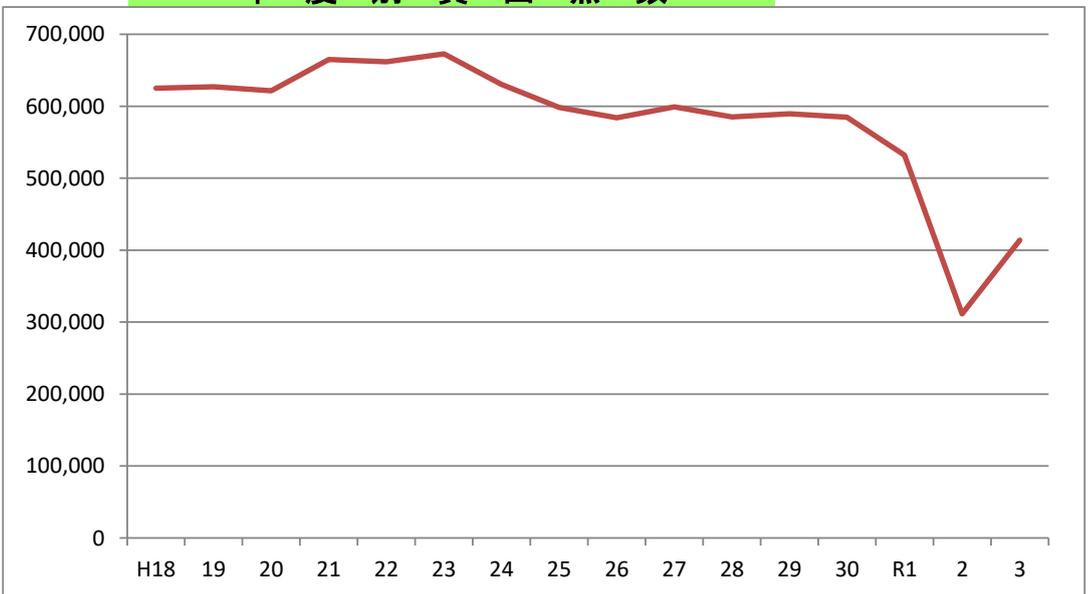
年度	利用者数
H18	158,767
19	157,988
20	155,292
21	152,966
22	151,568
23	152,102
24	141,974
25	134,727
26	129,497
27	132,098
28	128,074
29	126,683
30	125,319
R1	114,471
2	69,785
3	83,986

## 年度別利用者数



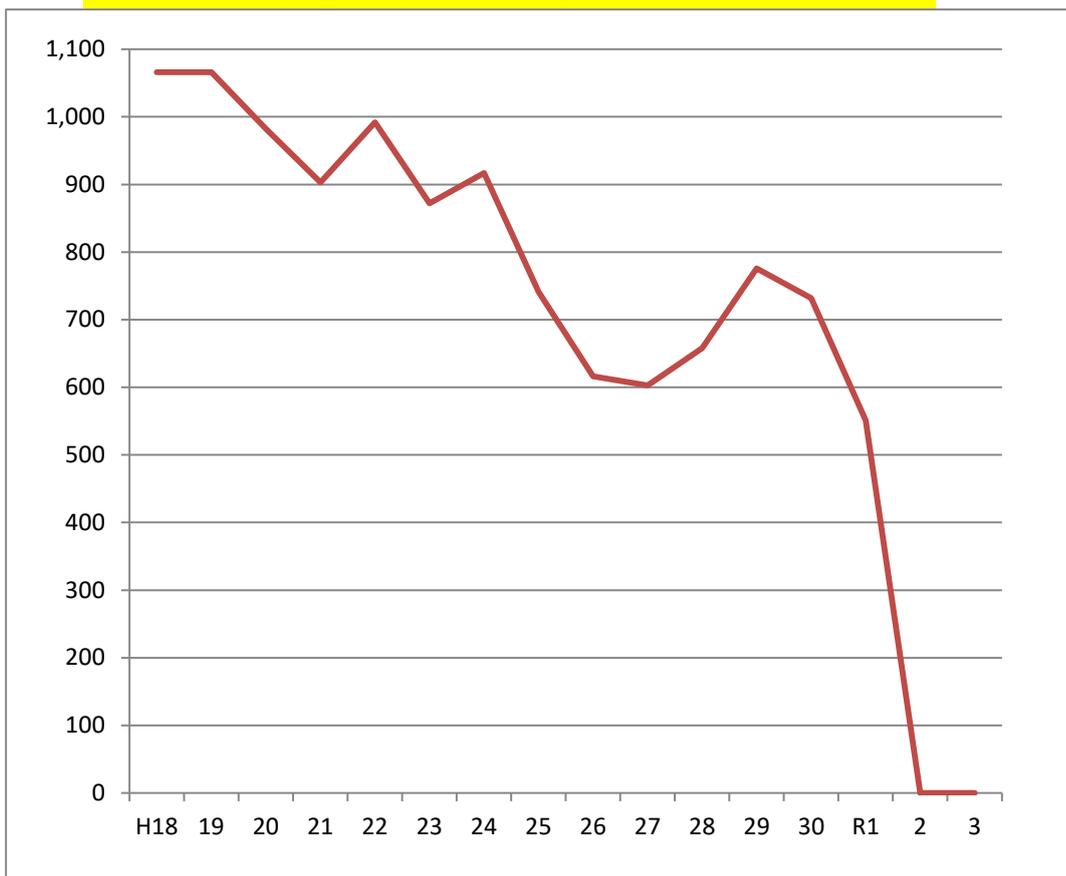
年度	貸出点数
H18	624,926
19	627,044
20	621,314
21	664,804
22	661,825
23	672,766
24	630,134
25	598,217
26	583,959
27	599,298
28	585,163
29	589,680
30	584,761
R1	532,197
2	311,398
3	413,775

## 年度別貸出点数



年度	参加人数
H18	1,066
19	1,066
20	982
21	903
22	992
23	872
24	917
25	741
26	616
27	603
28	658
29	776
30	732
R1	551
2	-
3	-

### 図書館行事参加人数



※ お話会、紙芝居会の参加人数

年度	利用人数
18	12,060
19	13,745
20	13,492
21	14,613
22	15,171
23	15,389
24	14,134
25	16,747
26	15,703
27	16,270
28	15,649
29	17,213
30	16,470
R1	15,697
2	-
3	2,344

### 図書館学習室利用人数

